

インターロッキングブロック舗装設計施工要領（平成29年3月）正誤表

ページ	誤	正
12	2.2.3(4)1)の(1)の式 分母：ブロックの長さ	ブロックの <b>厚さ</b>
12	同上 ただし <b>単辺</b> ≥50mm	<b>短辺</b> ≥50mm
13	図2.3 左図	<b>厚さが抜けている</b>
13	2.2.4(2)代表的な長方形 <b>波形</b> 型ILブロック・	長方形 <b>ストレート</b> 型IL・
13	図2.4タイトル 長方形 <b>波形</b> 型ILブロック・	長方形 <b>ストレート</b> 型IL
36	8) 付録2の付表2.1、2.2に示す	<b>付録7の付表7.1、付表7.2</b> に示す
38	3.5.10の(2) 付録2の付表2.3に示す	<b>付録7の付表7.3</b> に示す
42	(3)③付録2の付表2.4、付表2.5に示す	<b>付録7の付表7.4、付表7.25</b> に示す
42	(3)④ a 3行目 路床の飽和透水係数が $1 \times 10^{-4}$ m/s	$1 \times 10^{-5}$ m/s
42	(3)⑤1行目、透水係数が $1 \times 10^{-4}$ m/s	<b>飽和</b> 透水係数が $1 \times 10^{-4}$ m/s
43	(2)④付録2の付表2.6、付表2.7に示す	<b>付録7の付表7.6、付表7.7</b> に示す
62	図4.1 ILブロック層の施工フロー <b>透水シート</b> の敷設	<b>ジオテキスタイル</b> の敷設
87	表6.7 ILブロック層 ILブロック 右列透水性 $1 \times 10$	$1 \times 10^{-4}$
87	同上 路面温度上昇抑制型 左列路面温度上昇抑制値	路面温度上昇抑制値 ( <b>°C</b> )
87	同上 右列 <b>8°C</b> 以上	<b>8 以上</b>
付10	付図5.4、5.5、5.6 のクラッシャーラン (C30 又は RC30 )	<b>(R30 又は RC30) を削除</b>
付17	付表7.3の透水性舗装 上層路盤の欄 (注2)。(注3)	<b>注2を注3、注3を注2とする</b>
付32	3. 温度補正 <b>20</b> に補正したBPN値補正式・	<b>20°C</b> 補正したBPN値補正式・
付32	3. $C_{20}$ : <b>20</b> に補正したBPN値	<b>20°C</b> に補正したBPN値
付33	2・試験方法 式 $h_a =$	<b>×100 を入れる</b>

2020年6月現在